

*機械器具 (21) 内臓機能検査用器具

*管理医療機器 特定保守管理医療機器

*一般の名称：ピークフロースパイロメータ *JMDN コード：31300000

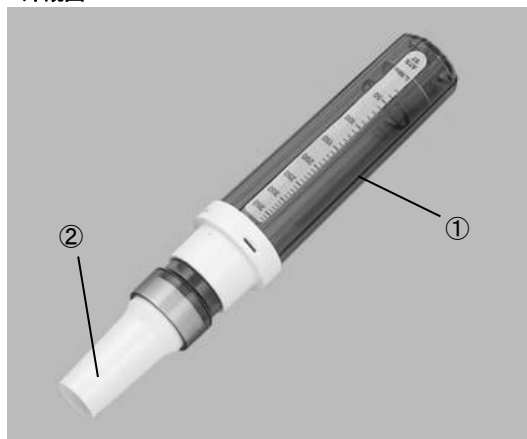
吸気フローメーター インチェック

【禁忌・禁止】

喘息発作時の測定は急性気管支狭窄や咳を誘発し、心肺停止を起こす可能性がありますので、発作時の測定は行わないこと。

*【形状・構造及び原理】

1. 外観図



2. 組 成

- ① 本体 (ポリカーボネイト)
- ② マウスピース (ポリプロピレン)

*【使用目的、効能又は効果】

本製品は、簡便にピーク又は最大下の吸気流速を測定する、小型の吸気流速計です。本体は透明のため、吸気流速の量的動きを観察する事が可能です。またアダプターを装着することにより、ドライパウダー吸入器の使用適格性判断ができるとともに、ドライパウダー吸入時の最適吸入方法を会得できます。

【操作方法又は使用方法等】

- (1) マウスピースを本体に取り付けます。
- (2) ポインターがリセットされていることを確認します。
- (3) できるだけ最後まで息を吐き出します。
- (4) 本体を水平に持ち、回りから息が漏れないように口にくわえ、いっきに強く口から息を吸い込みます。
- (5) 口から離し、停止したポインターの目盛りを読み取ります。
- (6) 上記 (2)、(3)、(4) を 2 回繰り返し、3 回のうち一番大きい測定値を記録します。

※アダプターを使用する場合は、本体とマウスピースの間につなげて使用します。

【使用上の注意】

- (1) 使用前、必ず本体内部に異物が無いことを確認して下さい。
- (2) 常に清潔に保って下さい。
- (3) 本体は、75℃以上のお湯に入れたり、煮沸しないで下さい。
- (4) 紙製ディスクマウスピースは、一度使用したら廃棄して下さい。
- (5) 医師の指導のもとに、手技に熟練した者が適切な使い方を被験者に指導すること。最初の来院時および再来時に被験者にさせて、訓練を受けた人がそれを観察する。
- (6) 被験者に、測定値をいつどのように記録するのかを、症状など関連する他の情報もあわせて指導する。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- (1) 暫く使用しない時は、保管前に洗浄して下さい。
- (2) 使用期限：使用開始後 2 年。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄

- (1) 洗剤液 (台所用合成洗剤等) を入れたぬるま湯に、2～3 分間浸します (5 分以上、入れておかないで下さい)。
- (2) そのまま中でゆすって洗浄します。
- (3) 洗剤は、ぬるま湯で完全に洗い流して下さい。
- (4) 乾いた布で水滴を拭き取り、完全に乾燥させて下さい。

2. 消毒・滅菌

<本体、アダプター>

- ・消毒液による消毒

<マウスピース>

- ・オートクレープ滅菌
- ・煮沸消毒
- ・消毒液による消毒

消毒後は、水でよく洗い流してください。

【包装】

1 本入／透明ケース

【主要文献及び文献請求先】

松吉医科器械株式会社

**住所：〒113-8520 東京都文京区湯島 3-14-9 湯島ビル 3F

**電話：03-5816-8819

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

松吉医科器械株式会社

**住所：〒113-8520 東京都文京区湯島 3-14-9 湯島ビル 3F

**電話：03-5816-8819

製造業者

Clement Clarke Int. Ltd (イギリス)